

研究主題「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり ―各教科等における見方・考え方を働かせて―」

【単元を貫く問い】ALTの母国の料理を給食メニューで実現するために、ALTとどのようなやり取りをすればよいか。

この単元と関連した領域の付いている力(◆話すこと[やり取り])と内容(・)  
 [第3学年及び第4学年]  
 ◆知り合いと簡単な挨拶を交わしたり、感謝や簡単な指示、依頼をして、それらに応じたりする力  
 ・3年Unit1Hello! Unit2How are you? Unit7This is for you. 4年Unit7What do you want?  
 ◆自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、好みや要求などの自分の気持ちや考えなどを伝え合う力  
 ・3年Unit5What do you like? 4年Unit3I like Mondays.  
 ◆自分や相手の好み及び欲しい物などについて、簡単な質問をしたり質問に答えたりする力  
 ・3年Unit5What do you like? 4年Unit7 What do you want?  
 [第5学年]自分に関する簡単な質問にその場で答えたり、反応したりして短い会話をする力

本単元の目標

学習指導要領「話すこと[やり取り]」ーウ  
 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。  
 「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標第6学年「話すこと[やり取り]」ーウ  
 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、その場で質問をしたり答えたり、それに反応したりして短い会話をしている。

学びに向かう力、人間性等

ALTの母国の料理を給食メニューで実現するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手の考えや気持ちなどを尋ねたり、自分の考えや気持ちを答えたりして、伝え合おうとする。

単元終了時のめざす児童の姿

ALTの母国の料理を給食メニューで実現するために、ALTの考えや気持ちを探ねたり、自分たちの考えや気持ちを言ったりしながら、ALTと一緒に給食の献立を考え、伝え合うことができている。

知識及び技能

〈知識〉～ is from …, ～ is in the …group. 及びその関連語句などについて理解している。  
 〈技能〉～ is from …, ～ is in the …group. 及びその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付ける。

思考力、判断力、表現力等

ALTの母国の料理を給食メニューで実現するために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手の考えや気持ちなどを尋ねたり、自分の考えや気持ちを答えたりして、伝え合う。

この単元からつながっている領域の付きたい力(◆)と内容(・)

[中学校]  
 ◆関心のある事柄について、分からないことや自分が関心のある事などを相手に聞き返しながら、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合う力。  
 ◆日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う力。  
 ◆社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする力

他教科等との関連

- ・社会科 第5学年「わたしたちの生活と食料生産」
- ・家庭科 第5学年「食べて元気! ご飯とみそ汁」 6学年「まかせてね 今日の食事」

言語活動

毎時間帯活動として既習事項や新出表現などを用いたスマールトークを行い、「やり取り」をする上での資質向上とともに、表現の定着を図っていく。

ALTの母国の料理を給食メニューで実現するために、ALTと互いの考えや気持ちを伝え合い、一緒に献立を考える。

【1, 2, 3時間】

●四万十市ALT5名からの母国紹介ビデオを見て、食を中心に日本との共通点や相違点に気付く。(1時間)  
 ・導入で食を中心としたクイズに答える。  
**T: Where is pizza from?**  
**S: Pizza is from Italy.**  
 ・料理についての情報を聞く表現  
**S1: What's this?**  
**S2: This is Oyakodon.**  
**S1: What's in it?**  
**S2: Chicken, eggs and onions.**  
 ●栄養教諭からALTの母国の料理を給食で実現することが可能という返事と、ALTが次の時間に実際に来校してくれることになったことを知り、ALTから母国の料理について情報を得るために、どのようなやり取りをすればよいか考える。(1時間)  
**S1: What's this?**  
**S2: It's wasabi.**  
**S1: Is it spicy?**  
**S2: Yes, it's spicy.**  
 ●ALT5名が来校し、ALTの国の料理について質問し、情報収集する。(1時間)  
**S1: What's this? (料理の写真をしながら)**  
**A: This is Bobotie.**  
**S2: Bobotie? What's in it?**  
**A: It has beef, eggs and onions in it.**  
**S3: Is it spicy?**  
**A: No, it's not spicy. It's delicious.**  
**I have a question. Where is the beef from?**  
**S4: Oh, I don't know.**

【4, 5, 6, 7時間】

●栄養教諭から栄養バランス等の献立を考える上での視点を聞いて、ALTの母国の料理の栄養バランスを分析し、バランスを補う食材を考える。(1時間)  
 ・栄養素のグループについて聞く表現  
**S1: What is in the green group?**  
**S2: Broccoli is in the green group.**  
 ●ALTと栄養バランスの取れた献立を一緒に考えるために、追加で聞きたい質問や相手の好みなどを尋ねたり、答えたりして伝え合う。(1時間) [本時]  
 ・どんな既習表現が使えるか学習する。  
**Do you like/eat/know ~?**  
**Can you eat ~?**  
**What ~ do you like?**  
**How about ~?**  
 ・やり取りを続けるための表現(あいづち等)  
 ●ALT役(ALT/教員)に栄養素について質問され、必要表現を入れながら答える。やり取りをしながら一緒に献立を考える。(2時間)  
 【知】  
**S1: No green group. Not good balance.**  
**A: Oh, really?**  
**S2: Yeah, we want green group.**  
**A: What is in the green group?**  
**S3: Cucumbers are in the green group.**  
**How about cucumbers?**  
**Do you like cucumbers?**  
**A: Yes, I do. I like cucumbers.**  
**S4: Me too.**  
**A: I have a question.**  
**Where are the cucumbers from?**  
**S1: The cucumbers are from Shimanto city.**  
**A: Oh, that's nice. I like local vegetables.**

【8時間】

ALTと一緒に栄養バランスの取れた献立を考える  
 ●ALTの考えや気持ちを探ねながら、その場で給食メニューと一緒に考える。その際に、栄養教諭からの要望である栄養バランスについてALTに伝える。(1時間)  
**例) A: Do you want fish and chips or roast chicken?**  
**S1: I want fish and chips.**  
**S2: Me too. I want to eat fish and chips.**  
**A: OK. How about you?**  
**S3: I want to eat fish and chips too.**  
**S4: Me too.**  
**S1: Please look at this. (栄養バランス表)**  
**S2: Fish is in the red group.**  
**S3: Potatoes are in the yellow group.**  
**S4: Oh, no! No green group.**  
**Not good balance. We want green group.**  
**A: What is in the green group?**  
**S1: Cucumbers are in the green group.**  
**Do you like cucumbers?**  
**A: No, I don't.**  
**S2: Oh, OK. How about tomatoes?**  
**A: I like tomatoes. I like tomatoes from Mihara.**  
**Where are the tomatoes from?**  
**S3: Tomatoes are from Mihara. It's yummy.**  
**S4: Do you know Ricchan's genki salad? ...**

パフォーマンス評価: ALTが提示した料理の写真について知るためのやり取りをする。  
 \*「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の記録に残す評価を行う。

見方・考え方を働かせている児童の姿

・ALTの母国の料理を知るために、どんな表現が使えるか、既習表現を思い出してやり取りしている姿。  
 ・実際の相手を目の前にして相手の考えや気持ちを探ねようとする姿。

・ALTと一緒に栄養バランスの取れた献立を考えるために使えるような表現について考え、やり取りしている姿。  
 ・相手の発話に関連のある質問をして、相手の考えを理解しようとしている姿。

・ALTと一緒に栄養バランスの取れた献立を考えるために、相手の考えや気持ちを探ねたり、応答したりしながら、自分の考えや気持ちをその場で伝え合っている姿。

|      | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|------|--|--|---|
| 評価規準 | 〈知識〉[～ is from …, ～ is in the …group.及びその関連語句など]について理解している。<br>〈技能〉[～ is from …, ～ is in the …group.及びその関連語句など]を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 | ALTの母国の料理を知って、一緒に栄養バランスの取れた献立を考えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手の考えや気持ちなどを尋ねたり、自分の考えや気持ちを答えたりして、伝え合っている。 | ALTの母国の料理を知って、一緒に栄養バランスの取れた献立を考えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手の考えや気持ちなどを尋ねたり、自分の考えや気持ちを答えたりして、伝え合おうとしている。 |

児童の実態と指導観

本校の児童は、昨年度実施した英語意識調査の結果、「英語で友達や先生と会話することが楽しい」の肯定的回答が94.5%と、外国語でのやり取りに関して肯定的な評価が非常に高いことが分かる。  
 本学級の実態としては、話すこと「やり取り」に関して、1学期に実施したパフォーマンス評価の結果は、A評価90%、B評価10%、C評価0%となっている。授業では誰とペアになっても、教え合い高め合いながらペア活動ができる雰囲気があるので、相手の意見を聞きながら、さらにそれを広げよう深めようとする質問も聞き合っている。しかし、会話を続けるための表現はワンパターンになりがちなので、この単元を通して、会話を続けるための表現も増やしていくための指導をしていきたい。

【本時の目標】ALT の母国の料理を給食メニューで実現するために、相手の好みなどを尋ねたり、答えたりして伝え合うことができる。(本時 5 / 8)

【本時における言葉による見方・考え方】ALT の母国の料理を給食メニューで実現するために、もっと聞きたいことや使えそうな表現について考えながら、やり取りをしている。

|                 |  |  |  |
|-----------------|--|--|--|
| Daily questions | 単元ゴール ALT の母国の料理を給食メニューで実現するために ALT と献立を考えよう。  | 【言語活動モデル】<br>S1: Can you eat tomatoes?<br>S2: No, I can't.<br>S1: Oh, really? What vegetable do you like?<br>S2: I like cucumbers. Do you like cucumbers?<br>S1: No, I don't. How about <i>nira</i> ?<br>S2: I like <i>nira</i> . Do you like <i>nira</i> ?<br>S1: Yes, I do.<br>S2: How about <i>nira</i> egg soup?<br>S1: That's nice! I like <i>nira</i> egg soup.<br>S2: Me too. It's delicious. | ◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫<br>・自分の考えや気持ちを伝え合う場面を設定し、ペアの相手を変えてやり取りを繰り返すことで、自分とは違う表現に気が付いたり、適切な表現を選んで話したりできるようにする。<br><br>◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て<br>・会話に必要な表現を、児童が主体となって考えられるように、既習表現に目を向けさせたり、発問や切り替えを工夫したりすることで、児童が質問をしたり自分の考えを伝えたりしながら、やり取りを続けられるようにする。 |
|                 | めあて ALT の母国の料理を給食メニューで実現するために、どんなことを聞いたらいいか考えよう。   |  |  |
|                 | 【ALT に聞きたい質問】 ←児童から出た質問を共有<br>・ Do you like ~ ?<br>・ Do you know ~ ?<br>・ Can you eat ~ ?<br>・ What ~ do you like?<br>・ What can you eat ?<br>・ How about ~? | 【あいづち】 ←児童から出たあいづち表現等を共有<br>・ Oh, really?<br>・ I see.<br>・ Me too.<br>・ That's nice.   |  |

前時の振り返り・本時のめあての共有

個人思考・全体共有

まとめ・振り返り

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| <p>①あいさつをする。</p> <p>②スモールトークを行う。<br/>S1: What school lunch do you like?<br/>S2: I like Mabodofu.<br/>S1: Why?<br/>S2: I like tofu. It's delicious. ...</p> <p>③前時の振り返りから単元ゴールを再確認する。<br/>・デジタル教材を使い、ALT から紹介された母国の料理の栄養バランスについて、ペアで確認する。<br/>T: Yesterday, we checked the nutrition balance of the food. Let's check it again.<br/>S1: Fish is in the red group.<br/>S2: Potatoes are in the yellow group.<br/>S1: Oh, no! No green group.</p> <p>T: Was it perfect? Good Balance?<br/>S: No!<br/>S: No yellow group.<br/>T: Oh, you want yellow group.<br/>昨日は、ALT の先生が紹介してくれた料理について、栄養バランスをチェックしてみると、栄養面で課題があることが分かったね。何のために、栄養バランスをチェックしたのかな。<br/>S: 栄養バランスがいいと、給食メニューに選んでもらえるし、ALT の先生にも喜んでもらえるから。<br/>T: ALT の先生の母国の料理を給食メニューで実現するためには、ALT にいろいろ質問しなければならぬね。今日はどんなことを聞いたらいいか、一緒に考えていきましょう。</p> <p>④本時のめあてを共有する。<br/>めあて:<br/>ALT の母国の料理を給食メニューで実現するために、どんなことを聞いたらいいか考えよう。</p> | <p>⑤既知について、使えそうな表現はないか確認する。<br/>T: 給食メニューで実現するために、ALT の先生にどんなことを質問したらいいかな?<br/>S: 好きなものを聞いてみたい<br/>S: アレルギーがあったらいけないから、食べられるかどうか確認したい。<br/>S: 日本の給食が好きって言っていたので、給食の好きなおかずを聞くのもいいと思う。<br/>S: Do you like ~?とか Can you eat ~?とか使えそう。<br/>S: What vegetable do you like?って聞けるかも。<br/>T: Good idea!<br/>ALT の母国の料理を給食メニューで実現するためには、ALT の好みを知ったり、気持ちを聞いたり、いろいろな質問をしたいですね。</p> <p>⑥やり取りをする。<br/>・ペアでやり取りし、相手の考えや気持ちを聞き合う。<br/>S1: Can you eat tomatoes?<br/>S2: No, I can't.<br/>S1: Oh, really? What vegetable do you like?<br/>S2: I like cucumbers.</p> <p>⑦中間交流をする。<br/>・もっと言いたいことや困ったこと、ペアで使っていたあいづち表現等について確認し、共有する。<br/>S: 食材の言い方がわからなかった。<br/>S: どう答えたらいいかわからなかった。<br/>S: 好きなものがわかってから、どう話を進めたらいいかわからん。<br/>S: I like ~.とか Me, too.とか自分の気持ちも伝えたいと思う。<br/>T: 相手の好きなもの一つじゃなくて、いろいろあるかもしれないよね。<br/>S: 質問を変えているんなら角度から聞いてみる。</p> | <p>T: ALT も普段同じ給食を食べているよね?<br/>S: 給食メニューの一覧表を使って、提案したらいいと思う。<br/>T: That's a good idea!</p> <p>⑧Teachers' Talk を聞く。<br/>・ALT と指導者の会話をヒントに、お互いの考えや気持ちを伝え合ったり、相手の言ったことに反応したりしながらやり取りする様子を見て、よりよくやり取りする工夫に気付く。</p> <p>⑨内省時間で自己調整する。<br/>・中間交流や Teachers' Talk の内容を参考にしながら、自分が使ってみたい表現を選択し、やり取りの内容を再考する。</p> <p>⑩ペアを変えて、再度やり取りをする。<br/>・中間交流で考えたことを意識してやり取りする。</p> <p>⑪中間交流をする。(2回目)<br/>・もっと言いたいことや困ったこと、ペアで使っていたあいづち表現等について確認し、共有する。<br/>・Good Model と ALT のやり取りを共有する。<br/>S1: Can you eat tomatoes?<br/>S2: No, I can't.<br/>S1: Oh, really? What vegetable do you like?<br/>S2: I like cucumbers. Do you like cucumbers?<br/>S1: No, I don't. How about <i>nira</i>?<br/>S2: I like <i>nira</i>. Do you like <i>nira</i>?<br/>S1: Yes, I do.<br/>S2: How about <i>nira</i> egg soup?<br/>S1: That's nice! I like <i>nira</i> egg soup.<br/>S2: Me too. It's delicious.</p> <p>⑫最初のペアとやり取りをする。<br/>・タブレットを使い、ペアでやり取りを撮影する。</p> | <p>⑬振り返りをする。<br/>T: 今日できたこと、言いたかったけど言えなかったこと、ALT と母国の料理を給食メニューで実現するために、他にどんな表現が言えるようになりたいかなど、表現をメモしておきましょう。</p> <p>&lt;本時で目指す児童の姿&gt;<br/>これまで学習した表現を使ったり、応用したりしながら、相手の考えや気持ちを聞きながら、ALT の母国の料理を給食メニューで実現するためのやり取りを続けようとする姿。</p> |
| <p>〔指導上の留意点〕<br/>・児童が目的・場面・状況を掴むことができるように明確に伝える。</p>   | <p>〔指導上の留意点〕<br/>・会話に必要な表現を、児童が主体となって考えられるように、発問や切り替えを工夫する。</p>   | <p>〔指導上の留意点〕<br/>・中間交流では、新たに出てきた課題を共有し、さらにやり取りの内容を深められるようにする。</p>   | <p>〔指導上の留意点〕<br/>・振り返りでは、ALT 等が表現内容を工夫している児童を評価し、全体に広げて次時の意欲に繋がられるようにする。</p>  |
| <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行うため、児童の学習状況を確認する。</p>  |   |   |   |